

「グランドレベルで千葉市のまちづくりを考える ／地域を活かす建築家のファシリテーション」

建築まちづくりにおいて大切なことは地域特性を活かすことです。千葉市はJRと京成線とモノレールの鉄道結節点であり、それに挟まれた界隈、整備された中央通りと路地、葭川も含め、やや複雑な都市構造を持っています。ここで、まちづくりにも求められる視点は、グランドレベルです。道路づきの1階のスペース、公園、広場、これらは回遊時の眼の高さであり、賑わいを作る上で大切なネットワーク要素かつアクティビティを作るシーズでもあります。それをどう捉えればよいのか？どのように住民の声や目線を創造的に具現化するのか？を深堀します。そこで、グランドレベルの論客であり活動家である田中元子氏に「まちづくりにおけるグランドレベル」の話をいただき、次に千葉市まちづくり課の長島哲治氏から、「千葉市のウォークアブルなまちづくり」の話をいただき、それらを手掛かりに、住民参加のまちづくりにおける地域を活かす建築家のファシリテーションについて考えてみたいと思います。

●10月3日(金)18:30~20:00

●ZOOM ウェビナー方式 (CPD1 単位)

ZOOM 招待 URL <https://us06web.zoom.us/j/81425028256>

ミーティング ID: 814 2502 8256



※阿野太一(写真、喫茶ランドリー)



■田中 元子 (たなか もとこ)

(株)グランドレベル代表取締役社長、建築コミュニケーターとして建築関係のメディアづくりに従事後、2016 年「1 階づくりはまちづくり」をモットーとする株式会社グランドレベルを設立、2018 年私設公民館として「喫茶ランドリー」を開業、同年グッドデザイン特別賞グッドフォーカス賞(地域社会デザイン)。設計コンサルティングやプロデュースなどを全国で手がける。主な著書に「マイパブリックとグランドレベル」「1 階革命」(晶文社)ほか。

- ・挨拶:松島逸人(JIA まちづくり会議 議長) 進行:松村哲志(建築まちづくり委員会 委員長)
- ・「まちづくりにおけるグランドレベル」田中元子(株式会社グランドレベル 代表取締役)
- ・「千葉市のウォークアブルシティまちづくり」長島哲治(千葉市まちづくり課 リノベーション担当課長)
- ・「まちづくりファシリテーターとは何か」連健夫(日本建築まちづくり適正支援機構 代表理事)
- ・鼎談 質疑応答 ※コメンテーター:田島則行(千葉工業大学教授/テレデザイン代表)
- ・まとめ

●主催:JIA まちづくり会議、建築まちづくり委員会、 ●協力:JCAABE 日本建築まちづくり適正支援機構